



小学校国語科 指導の充実 STEP1・2・3!!

～「R4全国学力・学習状況調査」の分析結果より～



STEP1

児童の学びの実態把握

全体的な傾向

全国平均と同程度であった。書写や漢字などの知識・技能は、全国比を上回っていたが、思考・判断・表現は全国比を下回り、特に、読む領域で課題がみられる。

	平均正答率
本県	66
全国	65.6



成果の見られた問題①とその要因

設問	正答率(全国比較)
③ 三 アイ	68.5 (+3.3) 60.1 (+1.4)

<問題の概要>

【文章2】の中の、——部ア(ろくが)・イ(はんせい)を、漢字を使って書き直す。

成果の見られた問題②とその要因

設問	正答率(全国比較)
③ 四	79.2 (+1.3)

<問題の概要>

手紙文を(一)から(二)に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する。

文中の適切な漢字や書写に関する事項を問う設問について、全国比を上回った。漢字練習やミニテスト等で、基礎・基本を習得させるとともに、文中で適切な漢字を使って書いたり、字の大きさや配列に注意して書いたりする指導が継続的に行われていたことが伺える。

今後も、「知識及び技能」について指導する際に、「思考力、判断力、表現力等」と関連を図り、活用させながら確実な習得を図っていくことが大切である。

課題の見られた問題①とその要因

設問	正答率(全国比較)
① 二	66.8 (-2.0)

<問題の概要>

【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する。

アイデアを出し合いながら気持ちよく話し合いを進める活動の中で、発言者の意図を問う設問である。話し手の発言が、友達の意見のよさを伝えるものであることや、アイデアを出し合うという話し合いの目的を捉えることに課題が見られる。

このことから、話し合いの目的を共有した上で話し合い活動を行うことや、発言の意図を振り返る活動を設定することが必要であると考える。

課題の見られた問題②とその要因

設問	正答率(全国比較)
② 一(2)	68.8 (-1.8)

<問題の概要>

「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する。

登場人物の関係について、文章全体から複数の描写を基に読み取る設問である。本文中には『「ぼく」しか知り得ないことを「老人」が知っている描写』や『「老人」と「ぼく」に一致する点がある描写』があるが、どちらか一方しか捉えられていない回答の割合が多かった。

このことから、一つのテーマについて物語全体から読み取り関係する描写を抜き出したり、複数の描写を基に交流したりする活動を設定することが必要であると考える。

課題の改善に向けて...

指導改善のポイント

「全国学力・学習状況調査」の解説動画も活用

必要感のある言語活動の設定

～視点に気付かせる発問・問い返し～

STEP 2

問い合わせ先：群馬県教育委員会義務教育課 027-226-4615



STEP2

更なる学びの充実のための指導改善

指導改善のポイント：必要感のある言語活動の設定～視点に気付かせる発問・問い返し～

課題の見られた問題①を視点に・・・

関連する指導事項 第5学年及び第6学年〔知識及び技能〕(I)ア
言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。

目的や意図を明確にした言語活動の設定

話し合いの目的や意図を確認し、学習のゴールを共有しましょう。

テーマ例：「地域のためにできる、公園の美化」

私は、小さい子と遊んであげると、公園も楽しい場所になると思います。

話し合いの目的とずれてないかな？

この話し合いの目的やゴールは何だったか、もう一度考えてみよう。

話し合いを進める中で、児童への声かけや掲示物等で目的やゴールを意識させましょう。

互いの立場を尊重することを意識した発言の振り返り

話し合いの場面を振り返り、話し合いを気持ちよく進めるやりとりの言葉の効果を実感させましょう。

ICTの活用

私の考えも〇〇さんと似ていて…。

この発言には、どんな効果があるかな。考えてみよう。

相手の考えに賛成している様子が見られるし、その後で自分の考えも伝えられるな。

発言を振り返らせる発問をして、児童に発言の意図や効果を考えさせましょう。

参考 お互いの意見のよさを伝え、認め合いながら話し合う

動画参照（2分2秒～3分48秒）

話し合いを気持ちよく進められるように、やりとりの言葉に着目させよう。



課題の見られた問題②を視点に・・・

関連する指導事項 第5学年及び第6学年〔C 読むこと〕イ
登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

視点を決めて叙述を読み取る言語活動の設定

登場人物の行動や会話、情景など視点を決めて、読み取る活動を設定しましょう。

「やまなし」は12月の場面にはしか出ていないのに、どうして題名になっているのかな。

では、5月の場面と比較してみよう。色の描写に着目してみると、5月と12月の場面はどんな違いがあるのでしょうか。

場面ごとの細かな読み取りも大切ですが、物語全体を俯瞰して読み取らせましょう。

表現の効果についての意見交換など目的意識をもたせた交流の設定

文章に書かれた内容だけではなく「どのように描かれているか」に着目した意見交換をさせましょう。

題名が「やまなし」である理由として考えたことを、友達の意見と比べよう。

「やまなし」という言葉の後は穏やかな情景描写が続くから、作者は自分の理想を題名にしたと思う。

色に着目しても同じようなことが分かったよ。

ICTの活用

クラス全員の意見が見られると、自分の意見と比べやすいね。

意見が似ている人と、もっとくわしく話したいな。

他の意見と比較して自分の考えを形成する活動を充実させましょう。

参考 表現の効果を考える

（動画参照8分30秒～11分30秒）

ここでは視点として表現に着目させているな。



STEP3

他学年の指導改善

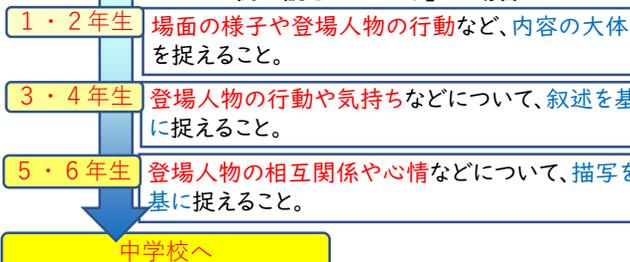
国語の資質・能力（指導事項）には系統性があります！

1年生から積み重ねて学習しているから、6年生でしっかり身に付くのね。



3年生でやっていることが分れば、4年生の授業内容を工夫できそうだ。

例「読むこと イ」の場合



他学年の授業を共有することで、自分の学年で身に付ける力や言語活動の妥当性が確認できます。